

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校校舎等外壁改修事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	長橋 祐之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び学校施設利用者	意図	経年劣化による亀裂、剥離など発生する恐れのある校舎等の外壁の維持・保全
事業内容	・亀裂、剥離など発生する恐れのある外壁の改修。			
事業開始から現在までの状況変化	・耐震補強工事と合わせて外壁改修工事を実施した学校以外の校舎は、経年劣化より外壁の改修工事を実施する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	外壁改修工事		2	1	校	↓↓↓	
	②							
	③							
	④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・校舎等防水事業と組み合わせることにより仮設工事費等の事業費の効率化を図ることが出来る。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総計(a=b+c)			69,448,400	37,581,480				
事業費(b)(円)			65,993,400	35,322,480				
うち一般財源			79,400	7,116,480				
職員給与費(c)(円)			3,455,000	2,259,000				
人役・職員(人)			0.50	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	予算化された工事について早期に発注する。	③取組の課題	事後保全ではなく、予防保全に移行する取り組みが必要
②今年度(H27)に実施した取組	小学校校舎の外壁改修工事	④今後の改善計画	改修計画を作成し、効率的な施設改修に取り組む